

おおもり

平成30年5月7日
東根市立大森小学校
学校だより72号

平成30年度始業式 校長式辞より

校長 土屋 常 義

今日からいよいよ平成30年度の大森小学校8年目のスタートです。

1年生は2年生へ 2年生は3年生へ そしてここにいる皆さんが一つ上の学年に進級し、新しいスタートを切りました。これからは進級した学年にふさわしいしっかりした目標をもって頑張ってくれることを楽しみにしています。

そこで、大森小学校の子供たちには、全校生が「仲良く手をつなぎ」そして、「元気」「本気」「笑顔」がいっぱいみられる子供になってほしいと考えています。

では、「元気な子ども」とは、どんな子どもをいうのでしょうか。

元気な子どもの姿を考えた時、まず私は、様々ある元気な姿の中で、「あいさつ」がしっかりできる子どもということを考えました。あいさつは、人と人との「心をつなぐ」大切な方法です。平成

30年度、ぜひ、大森小学校の子どもたちは「元気があっていいね」と、地域の方々や家の人たちからも言ってもらえるよう、ここにいるみんなが「元気なあいさつ」を意識して生活していきましょう。

次に「本気な子ども」とは、どんな子どもをいうのでしょうか。「本気」とは「目の前のことに夢中で取り組むこと」です。これから始まる1学期、皆さん一人一人「しっかりした目標を持って」本気でがんばる姿を楽しみにしています。

そして、最後は「笑顔がいっぱい」です。

皆さんはどんなときに笑顔いっぱいになれるのでしょうか。

○ 周りの人から優しくされたら、皆さんはうれしくて笑顔になりませんか。

→ だったら、周りの人にも自分からいっぱい優しくしてあげてください。

○ 「友達から一緒に遊ぼう」と声を掛けてもらったら、うれしくて笑顔になりませんか。

→ だったら、あなたの周りで一人ぽつんとしているお友達がいたら「一緒に遊ぼう」と声を掛けてあげてください。

○ 自分が困っている時、助けてもらったらうれしくて笑顔になりませんか。

→ だったら、周りに困っている人がいたら助けてあげてください。

つまり、笑顔いっぱいにするには、「一人一人が、自分がしてもらってうれしいことを、周りの人にもしてあげる」が大切なのです。

ぜひ、この1学期、全校生719名がみんな笑顔になれるように、「助け合い、励まし合い」を大切にして学校生活を過ごしていきましょう。

◇ 平成30年度・・・私たち教職員も、これまでの7年の実績を踏まえながらも、大森小学校の新たな1ページを書き加えられるよう、協働の思いを大切にして、「子どもたちの素敵な笑顔」のために、精一杯努力してまいります。

